

足立区立入谷中学校
校長 小出 泰隆 様

足立区立入谷中学校 開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

3つの「重点的な取り組み事項について」

「学校評価アンケート集計結果より」全般について

- コロナも5類に移行して2年目、今年度も例年に沿う教育活動を実施することができました。本校の課題である小規模校による人的資源の不足は、校長先生のリーダーシップにより、保護者や地域の方々の理解と協力をいただきながら、教職員の意欲を引き出す適宜適切な対応策によって、良い学校経営がなされています。
- 特に学校経営に関するアンケートの各項目について、肯定的な意見が、R4年度は95%、R5年度は96%、今年度は86%と、引き続き高い評価が得られたことは、経営方針が本校の実態に即したものであり適正であると考えます。

重点的な取組事項－1 「基礎学力の定着と課題解決力の育成」

- アンケート項目「入谷中は、学力向上（授業・補習）に積極的に取り組んでいる」では、保護者の肯定的回答が、昨年度94%、今年度は92%であり、校長先生手作りの朝自習プリント、放課後の補充教室での教え合い学習、またNTB（入試対策部）での先生方の指導の賜物であると思います。
- 課題である「こどもは家庭学習にとりくんでいる」の質問項目では、AIドリルを家庭学習として取り組ませたことにより、R4年度は75%と飛躍しましたが、AIドリルの活用を期間限定としたためかR5年度は64%、今年度は58%と下がりました。
- 「授業は、生徒にとってわかりやすく工夫されている」の質問項目では、昨年94%が今年80%と低下してしまいましたが、ICT機器の更なる有効な活用等、教員の指導に期待したいところです。

重点的な取組事項－2 心の教育

- 年3回の教育相談期間や、3年生校長面接、開かれた学校づくり協議会協賛による3年生個人面接などにより、自分を改めて見直し、よいところを認め合い、互いに学び合いができる学年づくりがなされています。それが、都立推薦合格率R4年度とR5年度の65%、更に本年も都立と私立を合わせ多くの生徒が推薦合格を果たすという結果に表れています。

重点的な取組事項－3 国際的・文化的・健康的な教育の充実（豊かに生きる生徒の育成）

- 「学校行事は生徒がいきいきと参加している」の項目でも、昨年93%、今年度91%と高い水準を示しています。これは運動会や学習発表会等、学校行事を通して、生徒一人ひとりの活躍の場、豊かに生きる生徒の居場所づくりのために、全教員で取り組んでいるという姿勢が評価されていると考えます。更に生徒会活動として全員参加の「花いっぱい運動」や全校生徒の3/4が参加する「ゴミゼロ運動」の活動が、生徒のボランティア精神の育成に繋がっていると考えられます。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 今年度は、教育活動においても保護者の期待に副い、安定した信頼を得る成果が見られ、今後もその取組について継続・発展していただきたいと考えます。また、家庭学習の定着には保護者の協力が不可欠なため、粘り強い啓発を支援していきたいと思えます。
- 小規模校の強みを活かした様々な活動や、入谷中の温かい雰囲気と先生方の優しい生徒対応等が地域から好印象をもたれ、来年度の入学予定者が大幅に増加し、新1年生が2学級になるとのこと。生徒・保護者からの信頼を礎に、今後も充実した教育活動の内容を更に広く地域に発信し、先生・保護者・地域の方々との連携を最重視し、更なる教育活動の充実に向けて学校を支援してまいります。

3 その他